

《資料Ⅰ》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	東書	書名	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<input type="checkbox"/> 教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、飼育「いきものとなかよし」等の単元で身近な動植物の継続的な飼育・栽培活動の例が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」ことに関連して、活動を通じて身に付ける習慣や技能が「やくそく」欄や巻末「べんりてちょう」に取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、児童の発達の特性や季節の変化に合わせた発問が示されている。 <input type="checkbox"/> 学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、身近な人々と伝え合い交流する活動や、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動が取り上げられている。		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<input type="checkbox"/> 「思いやる力」に関連して、他者を尊重し多様性を認めあえるように、様々な立場の人々とかかわる姿や公共施設について取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」に関連して、身近な地域への親しみや愛着がもてるように、まち探検でのインタビューや仕事を体験する活動が取り上げられている。		
内 容	<input type="checkbox"/> 表現や伝え合う活動例として、「つたわる広がるわたしの生活」の単元で、まち探検等の自分たちの活動をふり返り、気付いたことを多様な方法で表現する学習活動が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、生活科を中核としたスタートカリキュラムが「すたあとぶっく」にまとめられている。 <input type="checkbox"/> 幼児との交流の活動例として、「もうすぐ2ねんせい」の単元で、来年入学する幼児を小学校に招待し、学校を案内したり自分たちの作成したおもちゃや考えたルールで幼児と一緒に遊ぶ等の活動が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 気付きの質を高める学習活動例として、「べんりてちょう」の中に「見つけたことから考えよう」のページを設け、友だちと話し合い、比べたり、分類したり、順序だてて考えたりする活動が例示されている。 <input type="checkbox"/> 自分の成長に関することとして、学習活動のまとめとしての「じぶんのことをふりかえろう」のページや、身近な人たちに聞きながら、自分の生き立ちをふり返り、多様な方法で表現する活動が取り上げられている。 <input type="checkbox"/> 神奈川県に関することとして、平塚市の「七夕まつり」が取り上げられている。		
構 成 分 量 装 丁	<input type="checkbox"/> めくりながら植物の成長順序がわかる変型判ページや、上巻末に屋外での活動に携行できる「ポケットずかん」などの資料が掲載されている。 <input type="checkbox"/> 「色覚問題の研究者に校閲を依頼し、カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインの検証を行っています。」「読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン（UD）書体を使用しています。」「再生紙・植物油インキを使用しています。」と表示されている。		
表記・表現	<input type="checkbox"/> 小単元名や本文、マーク、「やくそく」などの紙面の各要素の位置が固定されている。 <input type="checkbox"/> キャラクターが、思考を促すヒントや、安全上の留意点などを投げかけている。		

《資料 I》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	大日本	書名	新版 たのしい せいかつ 上 なかよし 新版 たのしい せいかつ 下 はっけん
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<ul style="list-style-type: none"> □教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、2年間通して継続的に飼育や栽培を行う「はなややさいをそだてよう」等の単元に活動例が取り上げられている。 □教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」に関連して、活動を通じて身に付ける習慣・技能や、活動を広げるための資料が「がくしゅうどうぐばこ」として設定されている。 □学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度」に関連して、登場人物の吹き出しのセリフが、児童の気付きを促す問いの形で示されている。 □学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、単元「わたしの町はっけん」を中心に、身近に生活している様々な人々、社会、自然とのかかわりを深める活動が取り上げられている。 		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<ul style="list-style-type: none"> □「思いやる力」に関連して、継続的な飼育・栽培活動を通し、命の大切さを感じられるよう、生命の誕生や死について取り上げられている。 □「社会とかかわる力」に関連して、公共施設の利用、インタビューを通し身近な地域・人々と繰り返しかかわる活動が取り上げられている。 		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> □表現や伝え合う活動例として、体験をもとにした伝え合いや話し合いの場面が取り上げられており、活動の内容に関する言葉がコラム「せいかつことば」にまとめられている。 □幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、家庭での登校前日の準備や朝の登校の様子がイラストで示され、学校では幼児教育で馴染みのある遊びを通して、友だちをつくる活動が取り上げられている。 □幼児との交流の活動例として、来年入学する幼児を小学校に招待し学校生活を体験してもらう活動や、その新入生のために教室の環境を整える活動が示されている。 □気付きの質を高める学習活動例として、登場人物やキャラクターのセリフ、カード等の記録の例から、比べたり、たとえたりする活動例が示されている。 □自分の成長に関することとして、具体物や身近な人々へのインタビューから「自分のはっけんブック」にまとめる活動が取り上げられている。 □神奈川県に関することとして、横須賀市の子ども110番、茅ヶ崎市の避難所掲示板が取り上げられている。 		
構 成 分 量 装 丁	<ul style="list-style-type: none"> □透明シートの口絵、野原のビンゴゲーム、夜の探検ライトなどの仕掛けのページが設けられている。 □季節に沿った大単元構成となっている。 □「この教科書は環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、抗菌処理をしています。」「このマークは、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られたと、NPO 法人 CUDO が認定した施設・製品にのみ表示できるマークです。（認証取得予定）」と表示されている。 		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> □児童の活動課題を具体的に説明する文が見開き右上の木の葉のスペースに示されている。 □登場人物やキャラクターのセリフとして、活動の内容や活動に際しての注意や安全・マナーを投げかけている。 		

《資料Ⅰ》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	学図	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>□教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、飼育「いきものだいすき」栽培「わたしのあさがお」等の単元で継続的な活動の例が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」ことに関連して、基本的な学習の方法が「学びかたずかん」「ものしりノート」「チャレンジずかん」として設定されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、活動の目的や内容、解決すべき課題が登場人物の会話の中に示されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、人との交流を活動の中心に据え、様々な人々と交流し、かかわる場面が繰り返し設定されている。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>□「思いやる力」に関連して、相手を理解し、尊重する心を育むように、幼児・高齢者・障害のある人など様々な人々とかかわる場面が設定されている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、職業や自分の生活との関連に気付くために、働く人々と交流し発表する学習活動が繰り返し取り上げられている。</p>
内 容			<p>□表現や伝え合う活動例として、活動をふり返る場面での表現活動として、手紙、作文、カード、グラフ、絵画や立体造形、壁新聞、地図等、多様な表現活動が例示されている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、小学校の一日や安全な登下校、友だちづくりのための活動等が「1ねんせいになったよ」にまとめられている。</p> <p>□幼児との交流の活動例として、来年入学する幼児を学校に招待し、校内を案内したり、学校生活を紹介したりする活動や、新入生のために、教室をかざったり掃除したりする活動が取り上げられている。</p> <p>□気付きの質を高める学習活動例として、各大単元を学習した後に、その単元に関連した日常生活の中の身近な課題を、単元で学習したことを生かして解決する「きみならどうする」を設定している。</p> <p>□自分の成長に関することとして、家族や幼稚園・保育園の先生へのインタビューを通して成長をふり返り、自分の物語を絵本やまきもの、紙しばいにまとめ、お世話になった方々に発表する活動が取り上げられている。</p> <p>□神奈川県に関することとして、横須賀線の踏切、中華街の春節が取り上げられている。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p>□「探検」「栽培」「遊び」「飼育」「成長」の5つの大単元による構成になっている。</p> <p>□「ものしりノート」「チャレンジずかん」「生きものずかん」「学びかたずかん」「あんぜんのページ」が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました。」「この教科書は、環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。」と、表示されている</p>
表記・表現			<p>□大単元の冒頭に扉絵ページが設けられている。</p> <p>□各単元のリード文が子どもの言葉遣いで表現されている。</p>

《資料 I》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	教出	書名	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>□教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、飼育「なかよくなるうね小さなともだち」等の単元の中で継続的な飼育・栽培活動例が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」ことに関連して、活動を通じて身に付ける習慣や技能、活動を広げるための資料が巻末の「ぐんぐんポケット」として設定されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、記録の仕方や発表方法、次の活動を導く問い等、基本的な学習の仕方が示されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、「はっけんひんと」を設定し、体全体を使って感じ取る活動や、見付ける、比べる、たとえる活動を具体的に取り上げている。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>□「思いやる力」に関連して、生きものの側に立って考え、生命を感じ、愛おしむ心を育てるように継続的な飼育・栽培活動が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、地域の人との交流、体験、発表を通し地域の一員としてできることを考える活動が取り上げられている。</p>
内 容			<p>□表現や伝え合う活動例として、言語や絵、身体表現、歌など多様な表現方法が取り上げられており、巻末の「ぐんぐんポケット」に話し合ったり、発表したり、伝え合ったりする方法の例示がされている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、小学校生活の一日や、友だちを作るための活動として自己紹介や遊び、歌が「わくわくどきどきしょうがっこう」にまとめられている。</p> <p>□幼児との交流の活動例として、自分たちで考えた「あきのたからものランド」に幼児を招待して、自分たちが作ったおもちゃや考えたルールで一緒に楽しむ活動が取り上げられている。</p> <p>□気付きの質を高める学習活動として、キャラクターが「問いかけ」を提示し、「はっけんひんと」において、対象を見る視点や次の活動を導く問いが例示されている。また、家族に伝え、学習をふり返る「おうちでチャレンジ」が設定されている。</p> <p>□自分の成長に関することとして、友だちから自分のいいところやできるようになったことを教えてもらい、それをまとめる活動を通して、自分の成長をふり返る活動が取り上げられている。</p> <p>□神奈川県に関することとして、横浜の花火大会、日本丸メモリアルパーク、川崎市幸こども文化センターが取り上げられている。</p>
構 成 分 量 装 丁			<p>□各見開きページには、学習のねらい、関連している教科等が、同じ配置で表示されている。</p> <p>□巻末に「ぐんぐんポケット」が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用しています。1刷印刷するにあたり54Whのグリーン電力を使用しています。」「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と表示されている。</p>
表記・表現			<p>□「アサガオの発芽」の様子を感じる立体印刷が示されている。</p> <p>□合科的・関連的な指導の目安となる教科マークが表示されている。</p>

《資料 I》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	信教	書名	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかせ
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p><input type="checkbox"/>教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、飼育「いきものといっしょ」栽培「きれいにさいてね」等の単元で継続した活動例が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」ことに関連して、安全への注意喚起が言葉とキャラクターの様子で示されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、地域に根ざした活動を中心に、季節行事に沿って活動が繰り返し展開されている。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、地域の自然や季節行事、日常的な生活事象を教材にし、直接体験を通じた活動事例が取り上げられている。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p><input type="checkbox"/>「思いやる力」に関連して、小動物の家づくり・世話・出産を体験し命のつながりや大切さを重視した継続的な飼育活動が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>「社会とかかわる力」に関連して、四季を通じて動植物や人々と繰り返し関わり、親しみや愛情を深める直接体験が設定されている。</p>
内 容			<p><input type="checkbox"/>表現や伝え合う活動例として、言葉や絵、作文、身体表現、劇、歌など、多様な表現方法により、自分の思いを伝え合う活動が例示されており、友だちや家族、地域の人々との様々な交流が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、安全に留意しながら、遊びを通して仲間を増やし居場所をつくる活動が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>幼児との交流の活動例として、自分たちが生活科の学習で取り組んだ七夕会に招待する活動や、自分たちが幼稚園や保育園を訪問し、こままわしやシャボン玉を作って一緒に遊んだり、幼児の発表を聞いたりする活動が取り上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/>気付きの質を高める学習活動例として、地域に根ざした活動や「たごのせっく」「たなばた」「おつきみ」「ひなまつり」などの地域に伝わる季節の行事を題材に、地域の人々と様々にかかわりながら、繰り返し活動するように設定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>自分の成長に関することとして、乳児の人形を抱く体験や、小さい頃の写真や家族へのインタビュー、実際に幼稚園や保育園に行き幼児と遊ぶことでその頃のことを思い出す活動が取り上げられている。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p><input type="checkbox"/>子どもの学校生活や行事、季節などが時系列に単元配列されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「ゆずゆ」「正月」「かきぞめ」「だるま市」「ななくさ」「まめまき」等の伝統行事や、「はねつき」「かるたとり」等の伝承遊びにかかわる単元が、「切り絵」で表されている。</p> <p><input type="checkbox"/>「この教科書は再生紙、植物インキを使用しています。」「この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と、表示されている。</p>
表記・表現			<p><input type="checkbox"/>縦書きで表記されている。</p> <p><input type="checkbox"/>巻頭や見開きのカラー写真、各単元の表示マーク、主人公やその友だちの挿絵などが活動のはじまりに示されている。</p>

《資料Ⅰ》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	光村	書名	せいかつ上 みんな だいすき せいかつ下 みんな ともだち
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、継続的な飼育・栽培活動の「いきものとなかよし」等の単元の中で活動例が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」ことに関連して、安全上の注意や衛生上の配慮など、生活上知っておくべきことが「！」マークで示されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、単元の内容が活動のまとめりごとに掲載され、「ホップ（導入）」「ステップ（活動）」「ジャンプ（ふり返り）」の3段階の学習の流れで構成されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、体全体で自然に触れる活動や試行錯誤する活動を取り上げている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「思いやる力」に関連して、生きものを探したり、飼育したりする活動を通して、自然環境とのつながりにも着目する活動が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、地域そのものへの親しみや愛情を深められるよう、地域の人やものと繰り返しかかわる単元が設定されている。</p>		
内 容	<p>□表現や伝え合う活動例として、自分の成長を振り返る「ひろがれわたし」等の単元で、活動を通じて気付いたことやできるようになったことを、文章に書いたり、絵に描いたり、身体表現や具体物を使って、幼児や友だち、家族に向けて表現する活動が取り上げられている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、歌に合わせて自分の好きな「たべもの」「どうぶつ」「あそび」を紹介する活動や、様々な遊びを示し友だちや先生と「なかよし」になる活動が取り上げられている。</p> <p>□幼児との交流の活動例として、幼児を小学校に招待して、学校の中を案内したり、飼育動物の紹介をしたり、育てた植物の種をプレゼントしたりするなどの計画を、児童が幼児の立場に立って考える活動が取り上げられている。</p> <p>□気付きの質を高める学習活動例として、「どうすればいきものとなかよくなれるかな」等、全ての単元に視点や活動を広げるヒントとして「どうすればいいかな」のコーナーと「？」が設定されている。</p> <p>□自分の成長に関することとして、友だちからのメッセージや家族、保育園の先生へのインタビューによって気付いたことをまとめる発表する活動が取り上げられている。</p> <p>□神奈川県に関することとして、横浜市営地下鉄が取り上げられている。</p>		
構 成 分量 装 丁	<p>□それぞれの単元「ホップ」として導入の投げかけの言葉が、「ステップ」として活動のヒントが、「ジャンプ」として活動のふり返りや伝え合う交流活動が示され、学習の流れが3段階で構成されている。</p> <p>□「この教科書は環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。」と、表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□巻末に季節の様子や生きものに関する資料ページ「きせつのおくりもの」が設定されている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく せいかつ上/せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ下
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、飼育「生きものとなかよし」や、栽培「ひとつぶのたねから」等の単元で継続した活動例が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」に関連して、活動を通して身に付ける習慣や技能が「わくわくずかん」に、活動を広げるための資料が別冊に設定されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、学習の過程が「わくわく（導入）」「いきいき（活動）」「つたえあおう（交流）」「ちゃれんじ（深める）」の4段階で構成されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、別冊「せいかつたんけんブック」を設定し「しぜんあそび」等の単元で野外で安全に活動したり観察したりするためのヒントが示されている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「思いやる力」に関連して、公園を利用している高齢者、幼児、盲導犬利用者など様々な人々とのふれあいの場面が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、公共施設利用の仕方を考えたりまちを紹介したりする活動が設定されている。</p>		
内 容	<p>□表現や伝え合う活動例として、巻末の「わくわくずかん」「いきいきずかん」に話し方、聞き方、記録の取り方まとめ方、カードや紙芝居、クイズなど様々な表現方法、調べ方や伝え方が示され、基本的な技能としてまとめられている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、登下校の安全、学校の一日の様子や友だちとふれ合う活動などが「いちねんせいになったよ」にまとめられている。</p> <p>□幼児との交流の活動例として、幼児を学校に招待して、自分たちが考えた遊びで一緒に遊ぶ計画を立てる活動や、入学してくる1年生のために教室環境を整える活動が取り上げられている。</p> <p>□気付きの質を高める学習活動として、キャラクターが問いかける形で、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動を示しており、飼育・栽培活動や遊び、まち探検等様々な単元の中で、気付いたことを友だちに伝え合う活動が取り上げられている。</p> <p>□自分の成長に関することとして、自分の得意なことを紹介したり、身近な人にインタビューしたことを「自分の物語」として絵本や巻物、カルタなど多様な方法でまとめる活動が取り上げられている。</p> <p>□神奈川県に関することとして、川崎市のどんど焼きが取り上げられている。</p>		
構 成 分 量 装 丁	<p>□上下巻に加え、野外活動に持参できる別冊教科書「せいかつ たんけんブック」の3冊構成になっている。</p> <p>□「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようデザイン・配色しました。現在 NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証を申請中です。」「この教科書は、再生紙と植物油インキを使用しています。」と、表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□「あぶない」「こんなときどうしよう」「ちゃれんじ」のコーナー等で考えを促すような投げかけや注意を促す言葉がキャラクターのセリフとして吹き出しで示されている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【生活（生活）】

発行者の略称	日文	書名	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に関連して、継続的な飼育・栽培活動「生きものといっしょに」等の単元の中で活動例が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「学校生活を営む上で必要な規律を重んずる」ことに関連して、生活習慣や技能について「いちねんせいになったら」「なんでもずかん」に取り上げられている</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、比べたり、たとえたりする活動や試行錯誤して進める活動につながる言葉が、登場人物のセリフとして提示されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「体験活動の充実」に関連して、「なんでもずかん」に様々な遊びの例や季節の動植物や行事、調べ方やまとめ方等がまとめられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「思いやる力」に関連して、様々な人々とのふれあいを通して他者を尊重する態度と、共に生き親しく交流する場面が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、地域の良さに気付き、愛着が持てるよう、公共施設の利用や身近で働く人を取材する活動が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>□表現や伝え合う活動例として、言語、身体表現、ICT機器の活用など、体験したことを多様な方法で伝え合う活動が取り上げられており、「なんでもずかん」では、話し方、伝え方、調べ方、まとめ方について具体的に例示されている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例として、「いちねんせいになったら」に友だちとのふれあいや登下校、学校の一日、学習の準備・片付け、授業の約束などが示され、学校生活への適応や安全についてまとめられている。</p> <p>□幼児との交流の活動例として、幼児を学校に招待して、自分たちが秋の公園で見つけたものから考えた遊び「あきのひろば」で一緒に遊ぶ計画を立てる活動が取り上げられている。</p> <p>□気付きの質を高める学習活動として、四季の公園の様子が定点観測の写真で示されていたり、「こまったかあど」等の様々なカードが提示されたりしており、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動が示されている。</p> <p>□自分の成長に関することとして、自分ができるようになったことや友だちのいいところを探す活動や、家族やお世話になった人など様々な人へのインタビュー等を通して自分の成長をまとめ発表する活動が取り上げられている。</p> <p>□神奈川県に関することとして、横須賀市の津久井浜観光農園、藤沢市の海岸、三浦市のみさきまぐろラーメンが取り上げられている。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>□巻末に遊び方、調べ方やまとめ方、用具の使い方、安全、季節の生物などをまとめた「なんでもずかん」が設けられている。</p> <p>□「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。また、植物油インキと再生紙を使用しています。」と、表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□上下巻の表紙裏や裏表紙裏にイラストの輪郭や数字、点字に凸凹をつけた印刷がされている。</p> <p>□活動のヒントが登場人物のセリフが吹き出しで示されている。</p>		

《資料Ⅱ》

教科種目名【生活（生活）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	
東書	人との関わりを知り、生活上必要な習慣や技能が身に付くことに関連して、家庭生活では朝の挨拶や言葉かけの場面が、学校生活では「学校探検」を通して挨拶が取り上げられている。
大日本	自然愛や思いやりの気持ちに関連して、友達や家族、地域の人と交流することや、飼育栽培活動が取り上げられている。
学図	相手を理解し尊重する豊かな心に関連して、学校、まち探検を通して異学年、高齢者など様々な人々と関わる活動が取り上げられている。
教出	子どもの多様な発想を引き出すために「おしゃべりタイム」を設定し、善悪の判断や公共の場でのマナー、安全面衛生面で必要な内容が示されている。
信教	いつもの遊び場、生き物の居場所、散歩道など地域に根ざした生活事象を取り入れている。家族との伝え合いを取り入れ命の大切さが取り上げられている。
光村	お互いを知り尊重するような態度が身に付く活動として、自然や人々等と交流する活動が取り入れられている。
啓林館	相手や状況に応じた適切な接し方や豊かな情操と道徳心に関連して学校探検、まち探検などの活動が取り上げられている。
日文	豊かな情操を培うことに関連して「きせつとともだち」の単元の中で、季節に応じた活動や振り返りの活動が取り上げられている。
二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	
東書	自主及び自律の精神を養うことに関連して、人との関わる場面がイラストで例示され、できるようになったことを振り返る活動が取り上げられている。
大日本	自主及び自律の精神を養うことに関連して、キャラクターのセリフが主体的な活動を促す問いかけとして設定されている。
学図	勤労を重んずる態度を養うことに関連して、家の仕事で、自分でできることを継続して行う活動が設定されている。
教出	主体的に活動することに関連して、一年間を振り返り、できるようになったことを写真や言葉で示す活動が取り上げられている。
信教	生活との関連について、継続して行う小動物の世話や家でのお手伝いの場面が写真やイラストで示されている。
光村	生活との関連について、秋にまく野菜の種や町の避難場所や点字ブロックが写真で示されている。
啓林館	主体的な活動に関連して、「自分でできるかな？」というチェックリストの欄が設定されている。
日文	個人を尊重する態度を養うことに関連して、友達のよいところを見つける「できるようになったカード」や「友達応援カード」等を記入する活動が設定されている。
三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	地域の人々と自分との関わりに関連して、まち探検では、様々な地域で働いている人や生活している人が写真で示されている。
大日本	学校生活では、友達とお互いのよいところを認め合う場面や他学年の児童と交流する場面を写真で示し、活動をふり返る活動が設定されている。
学図	「自他の敬愛と協力」に関連して、家族、幼児、地域の人、障害のある人、外国につながる人がイラストで示されている。
教出	「自他の敬愛と協力」に関連して、野菜作りやまち探検の単元では、地域の人とのつながりがイラストや写真で示されている。
信教	「自他の敬愛と協力」に関連して、季節の行事や飼育栽培の単元で、友だちや地域の人と一緒に活動が取り上げられている。
光村	「自他の敬愛と協力」に関連して、家族、地域の人、高齢者等、様々な人と関わる活動が設定されている。
啓林館	「自他の敬愛と協力」に関連して、家族、地域の人、障害のある人と一緒に活動が設定されている。
日文	地域の人と関わりながら生活していることに関連して、各地の四季の行事が写真で示されている。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	
東書	身近な動植物の継続的な飼育・栽培活動の「いきものとなかよし」「きれいにさいてね」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
大日本	継続的に飼育する「いきものとなかよし」や、2年間通して継続的に栽培する「はなやさいをそだてよう」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
学図	継続的に生きものに関わる活動「いきものだいすき」や、花や野菜を栽培する「わたしのあさがお」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
教出	種や生きものの側にとって考える飼育・栽培活動「なかよくなるうね 小さなともだち」「きれいにさいてね わたしのはな」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
信教	2年間を通して扱う飼育活動「いきものといっしょ」や、継続的な栽培活動「きれいにさいてね」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
光村	継続的な飼育・栽培活動の「いきものとなかよし」「おおきなあれ わたしのはな」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
啓林館	飼育活動「生きものとなかよし」や、栽培活動「ひとつぶのたねから」といった単元の中で活動例が取り上げられ、別冊「せいかつたんけんブック」の中でも取り上げられている。
日文	継続的な飼育・栽培活動の「生きものといっしょ」に「さかせてみたいな はないっぱい」といった単元の中で活動例が取り上げられている。
五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	
東書	けん玉やコマ回しなど、日本の伝統的な遊びが紹介されている。また、日本各地で行われている祭りが四季を通じて紹介されている。
大日本	竹馬や茶道など、日本の伝統的な文化や遊び方が紹介されている。また、世界の国々の「こんにちは」という言い方が取り上げられている。
学図	「きせつずかん」として、日本各地で行われている祭りが四季を通じて取り上げられている。また、世界各国で行われている遊びが紹介されている。
教出	コマ回しやけん玉など、日本の伝統的な遊び方が取り上げられている。また日本各地で行われている祭りがその土地の方言を使って紹介されている。
信教	端午の節句、ひな祭りなどの伝統的な行事が取り上げられている。また雪国ならではの風物詩が紹介されている。
光村	四季を通じた町の様子がイラストで取り上げられ、お祭りや餅つき、竹馬などそれぞれの季節の風物詩が例示されている。
啓林館	羽子板、カルタ取り、コマ回しなど、日本の伝統的な遊びが取り上げられている。また大掃除や年賀状作りなどの季節の行事も紹介されている。
日文	日本各地で行われている祭りや海外で行われている祭りが取り上げられている。また日本各地の郷土料理が紹介されている。
第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。	
東書	活動を通して身に付ける習慣や技能が「やくそく」欄や巻末「べんりてちょう」に、活動を広げるための資料が「ずかん」として設定されている。
大日本	活動を通じて身に付ける習慣・技能や、活動を広げるための資料が「かくしゅうどうぐばこ」として設定されている。
学図	学習に役立つ基本的な学習の方法が「学びかたずかん」に、活動を広げるための資料が「ものしりノート」「チャレンジずかん」として設定されている。
教出	活動を通じて身に付ける習慣・技能や、活動を広げるための資料が「ぐんぐんポケット」として設定されている。
信教	安全への注意喚起がことばとキャラクターで明示され、活動を広げるための資料が「きせつのうつりかわり」「みつけてみよう」として設定されている。
光村	安全上の注意や衛生上の配慮など、知っておくべきことは「！」マークで表され、視点や活動を広げるためのヒントを示しながら自ら考えることができるように「どうすれば、いいかな」のコーナーが設定されている。
啓林館	活動を通して身に付ける習慣や技能が「わくわくずかん」に、活動を広げるための資料が別冊「せいかつたんけんブック」に設定されている。
日文	活動を通じて身に付ける習慣や技能が「いちねんせいになったら」に、活動を広げるための資料が「なんでもずかん」として設定されている。

○学校教育法第30条の内容

第30条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	
東書	それぞれのページには活動内容に合わせて、児童の発達の特性和季節の変化に合わせた発問が掲載されている。巻末の「ポケットずかん」では四季を通しての身近な動植物が図鑑的に掲載されている。
大日本	登場人物の吹き出しのセリフが、児童の気付きを促す問いの形で示されている。巻末の「がくしゅうどうぐぼこ」では学習に必要な資料が図鑑的に掲載されている。
学図	活動の目的や内容、解決すべき課題が登場人物の会話の中に示されている。「ものしりノート」では子どもの主体的な活動を支える基本的な知識や技能が紹介されている。
教出	「はっけんひんと」において、次の活動を導く問いが例示されている。また「ぐんぐんポケット」において「記録の仕方」「発表方法」等、基本的な学習の仕方が取り上げられている。
信教	地域に根ざした活動を中心に、季節行事に沿って活動がくり返し展開される構成になっている。「さんぼみち」では身近な動植物が図鑑的に掲載されている。
光村	単元の内容は、時期ではなく活動のまとまりごとに掲載され、それぞれの活動が「ホップ(導入)・ステップ(活動)・ジャンプ(ふり返り)」の3段階で構成されている。
啓林館	基本的に「わくわく(導入)」「いきいき(活動)」「つたえあおう(交流)」「ちゃれんじ(深める)」の4段階で単元が構成されている。「たんけんブック」には身近な動植物が図鑑的に掲載されている。
日文	比べたり、例えたりする活動や試行錯誤して進める活動につながる言葉が登場人物のセリフとして提示されている。

○学習指導要領の教科の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。	
東書	具体的な活動や体験について、季節に沿って上巻では学校やその周り、下巻では地域へと活動の場を広げた設定になっており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
大日本	季節に沿った大単元構成となっており、上巻では季節と「なかよし」、下巻では生きものや町、自分を「はっけん」する活動が設定されており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
学図	活動のまとまりごとの大単元構成となっており、飼育栽培活動等、上巻での活動に関連した活動が下巻でも繰り返して設定されており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
教出	具体的な活動や体験について、上巻では季節に沿った活動を中心に、下巻ではまち探検を中心に地域の人とかかわる活動が設定されており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
信教	地域の豊かな自然や日常的な生活事象を教材に、季節の伝統的な行事の単元等、地域の特色ある活動が設定されており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
光村	具体的な活動や体験について、活動のまとまりごとの単元構成となっており、各単元が導入・活動・交流の3段階で構成されており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
啓林館	具体的な活動や体験について、季節の移り変わりに沿って、上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」を中心に活動が設定されており、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。
日文	具体的な活動や体験について、活動ごとに単元が構成されており、計画・準備・見る・聞く・調べる・書くが繰り返され、その中で生活上必要な習慣や技能が取り上げられている。

○学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実	
東書	伝え合いにおいては、観察カードをはじめとする多様な表現方法が取り上げられている。巻末の「べんりてちょう」には記録の仕方やまとめ方、また電話や手紙での伝え方が例示されている。
大日本	体験したことをもとにした伝え合いの活動が例示されている。「せいかつのことば」では単元の内容に関する語彙が紹介されている。
学図	巻末の「まなびかたずかん」において、「話す」「聞く」「書く」ことにかかわる事項が取り上げられている。また表現活動において、カード、グラフ、絵画や立体作品などの多様な方法が例示されている。
教出	「ぐんぐんポケット」では基本的な言語活動の方法が示されている。また、体験したことを伝え合う活動では、言語だけでなくとどまらず、絵や身体表現、歌などの多様な表現方法を例示している。
信教	自分の思いがよりよく伝えられる方法として、言葉や、絵、作文、身体表現、劇などの多様な表現方法が例示されている。
光村	体験を通じて生まれた言葉が吹き出しで表されている。また観察カード、文章、対話、発表、ICT機器の活用など多様な表現活動が例示されている。
啓林館	巻末の「わくわくずかん」で「はなしかた」「ききかた」「きろくのとりかたまめかた」など、基本的な言語活動を展開する上での技能が例示されている。
日文	伝え合いの活動では、言語以外にも実物や身体表現、ICT機器の活用が例示されている。巻末の「なんでもずかん」で話す聞く書くことに関する基本的な技能が例示されている。
伝統や文化に関する教育の充実	
東書	けん玉やコマ回しなど、日本の伝統的な遊びが紹介されている。また、日本各地で行われている祭りが四季を通じて紹介されている。
大日本	家族で過ごす正月の様子や、あやとりやコマ回しなどの昔遊び、竹馬や茶道など、日本の伝統的な文化や遊び方が紹介されている。
学図	「きせつずかん」として、日本各地で行われている祭りや地域ならではの季節の行事が四季を通じて取り上げられている。
教出	コマ回しやけん玉など、日本の伝統的な遊び方が取り上げられている。また日本各地で行われている祭りがその土地の方言を使って紹介されている。
信教	端午の節句、ひな祭りなどの伝統的な行事が取り上げられている。また雪国ならではの風物詩が紹介されている。
光村	四季を通じた町の様子がイラストで取り上げられ、お祭りや餅つき、竹馬などそれぞれの季節の風物詩が例示されている。
啓林館	羽子板、カルタ取り、コマ回しなど、日本の伝統的な遊びが取り上げられている。また大掃除や年賀状作りなどの季節の行事も紹介されている。
日文	日本各地で行われている祭りや海外で行われている祭りが取り上げられている。また日本各地の郷土料理が紹介されている。
道徳教育の充実	
東書	動植物を育てる活動等、生命、健康、安全等の大切さに気付くための具体的な活動が取り上げられている。
大日本	まち探検を通して守るべきルールを学んだり、飼育栽培活動をしたりする中で、命の大切さに気づく活動が取り上げられている。
学図	「あんぜんのページ」から身を守ることを学んだり、身近な生き物とのふれあいや栽培活動したりすることから命を大切に活動が示されている。
教出	「ぐんぐんポケット」を提示し生活習慣の具体的な例が示されている。道徳との関連がマークで示されている。
信教	児童の発達の特徴に合わせた生活や学習のための技能が具体的に示されている。また、動物飼育、ダイズ栽培を通して命を大切に活動を取り上げている。
光村	人との関わりを大切にし、幼児・高齢者などに関わる活動が取り上げられている。
啓林館	スタートカリキュラムの中で、自分で行動を考えるイラストが示されている。
日文	「おかしも」「いかのおすし」のイラストによって、安全への心がけが示されている。命の大切さについて、飼育栽培活動が取り上げられている。
体験活動の充実	
東書	身近な人々と伝え合う交流活動や、「見付ける」「比べる」「たとえる」など気付いたことを基に考えられるような学習活動例が紹介されている。
大日本	単元「わたしの町はっけん」を中心に、身近で多様な人々、社会、自然とのかかわりを深める活動が取り上げられている。
学図	人との交流を活動の中心に据え、様々な人々と交流し繰り返しかかわる場面が設定されている。体験で得られた気づきを、ふり返りにより高めるという展開が設定されている。
教出	「はっけんひと」を設定し、体全体を使って感じ取る活動や、見付ける、比べる、たとえる活動を具体的に取り上げている。
信教	地域の自然や季節行事、日常的な生活事象を教材にし、直接体験を通じた活動事例が取り上げられている。
光村	体全体で自然に触れる活動や、試行錯誤する活動が取り上げられている。
啓林館	別冊「せいかつたんけんブック」を設定し、「しぜんあそび」等の単元で野外で安全に活動したり観察したりするためのヒントが示されている。
日文	「なんでもずかん」に様々な遊びの例や季節の動植物や行事、調べ方やまとめ方等がまとめられている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

<p>[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育等)</p>	
東書	他者を尊重し多様性を認めあえるように、様々な立場の人々と関わる姿や公共施設について取り上げられている。
大日本	命の大切さを感じられるように継続的な飼育・栽培活動を通し、生命の誕生や死についても取り上げられている。
学図	相手を理解し、尊重する心を育むように幼児、高齢者、障害のある人など様々な人々と関わる場面が設定されている。
教出	生きものの側に立って考え、生命を感じ、愛おしむ心を育てるように継続的な飼育・栽培活動を取り上げられている。
信教	小動物の家づくり・世話・出産を体験し、命のつながりや大切さを重視した継続的な飼育活動が取り上げられている。
光村	生きものを探したり、飼育したりする活動を通して、自然環境のつながりにも着目する活動が取り上げられている。
啓林館	公園を利用している高齢者、幼児、盲導犬利用者など様々な人々とのふれあいの場面が取り上げられている。
日文	様々な人々とのふれあいを通して他者を尊重する態度と、共に生き親しく交流する場面が取り上げられている。
<p>[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力等)</p>	
東書	コミュニケーション能力の育成を図るため、活動前、活動中、活動後の伝え合う活動の様子が取り上げられている。
大日本	学校たんけんや町たんけんでは、安全やマナーに関することや発見したことを伝え合いながら、コミュニケーションも図れるような学習活動が構成されている。
学図	電車やバスの乗り方やマナーを写真や言葉で示している。世界の遊びやじゃんけんを写真やイラストで示し、世界とのつながりが示されている。
教出	まち探検では、発見したことを地域の人に伝え合っているイラストや写真を示し、コミュニケーションが図れる展開になっている。
信教	学校でとれた野菜を料理し、食べる活動を通して、食と人との関わりについて考える学習が展開されている。
光村	学校探検やまち探検では、発見したことをクラスの友達や地域の人に伝え合っている活動例が取り上げられている。
啓林館	「発見カード」や「ありがとうカード」などを基にして、発表し合う活動を継続する展開になっている。
日文	様々な人とのふれ合いを通して、コミュニケーションを図る展開になっている。 3か国の祭りと1か国の遊びが写真で紹介されている。
<p>[社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動等)</p>	
東書	身近な地域への親しみや愛着がもてるように、まち探検でのインタビューや仕事を体験する活動が取り上げられている。
大日本	公共施設の利用、インタビューを通し、身近な地域・人々への関わりを深めるような教材が取り上げられている。
学図	職業や自分の生活との関連に気付くために、働く人々と繰り返し交流し発表する展開が取り上げられている。
教出	地域の人との交流、体験、発表を通し地域の一員としてできることを考える活動が取り上げられている。
信教	四季を通じて動植物や人々と繰り返し関わり、親しみや愛情を深める直接体験が設定されている。
光村	地域そのものへの親しみや愛情を深められるよう、地域の人やものと繰り返し関わる単元が設定されている。
啓林館	公共施設利用の仕方を考えたり、町を紹介したりする活動が設定されている。
日文	地域の良さに気付き愛着が持てるよう、公共施設の利用や身近で働く人取材する活動を取り入れている。

3 内容

※ 啓林館の別冊については下のページ数を含む

調査研究項目		東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館	日文
1 学校と生活に関する ページ数	上	32	20	26	24	17	22	27	33
	下	2	5	0	0	6	1	3	0
2 家庭と生活に関する ページ数	上	10	6	10	13	9	12	13	14
	下	5	10	4	4	19	2	2	2
3 地域と生活に関する ページ数	上	10	15	14	14	25	16	17	40
	下	40	42	33	44	41	28	42	20
4 公共物や公共施設に関する ページ数	上	13	10	11	6	3	12	12	13
	下	29	16	32	35	13	24	26	11
5 季節の変化と生活に関する ページ数	上	64	51	43	42	62	40	54	62
	下	18	26	14	8	32	8	40	10
6 自然や物を使った遊びに関する ページ数	上	21	26	36	30	40	30	37	41
	下	11	16	28	12	21	26	22	22
7 飼育に関する ページ数	上	9	10	12	7	14	12	10	1
	下	11	12	20	12	5	16	14	26
8 栽培に関する ページ数	上	11	20	20	16	17	18	14	18
	下	14	10	18	12	24	18	14	20
9 生活や出来事の交流に関する ページ数	上	11	8	8	25	10	22	20	14
	下	25	19	14	25	2	14	14	14
10 自分の成長に関する ページ数	上	13	4	10	13	4	18	17	10
	下	13	24	16	10	11	14	15	18
11 飼育動物の種類数	上	34	19	26	49	27	45	29	9
	下	7	20	42	10	10	10	30	19
12 栽培物の種類数	上	20	14	10	13	21	12	10	12
	下	16	10	18	14	3	13	10	20
13 生活上必要な習慣や技能の箇所									
東書	各活動を通して身に着ける習慣や技能が「やくそく」コーナーに取り上げられており、巻末の「べんりてちょう」にまとめられている。								
大日本	学校生活が安心してスタートできるよう基本的な生活習慣や安全について上巻始めに示され、巻末の「がくしゅうどうぐばこ」にまとめられている。								
学図	体全体を使った学び方や、友だちと仲良く遊ぶときのルールなどが、巻末に「学び方図かん」でまとめられている。								
教出	「あいさつ」「道具の使い方」「安全」など、生活科の学習で大切な習慣や技能が、巻末に「ポケット」としてまとめられている。								
信教	地域の季節行事や様々な活動の中で、主人公二人のふきだしのセリフや、イラスト、写真によって、生活上必要な習慣や、技能が示されている。								
光村	活動の後に手を洗うことや道具の使い方など、安全・衛生上の配慮が「！」マークで明示され、整理・整頓の仕方などが特設コーナーに記載されている。								
啓林館	巻末の「わくわくずかん」「いきいきずかん」や別冊の「せいかつたんけんブック」に、マナーや道具の使い方、安全などがまとめられている。								
日文	「いちねんせいになったら」に生活習慣や技能について、「なんでもずかん」に、マナーや防災・安全、道具の使い方等が取り上げられている。								
14 身近な自然で遊ぶ活動例									
東書	春の草花を使って冠や腕輪を作る。秋の木の実、木の葉を使ってお面や、マラカス、けん玉を作って遊ぶ例が取り上げられている。「やくそく」のコーナーで注意事項が示されている。								
大日本	「ピンゴカード」があり、花遊びが楽しくなるような工夫がある。春の草花遊びとして、タンポポの風車作りなどがある。								
学図	「ものしりノート」のページがあり、カラスノエンドウの笛、ナズナの鈴を作る例が取り上げられている。秋の木の実をつかって、ドングリのやじるべえ、マツボックリのけん玉を作る例が取り上げられている。								
教出	春の草花をつかって笹舟づくり。秋の落ち葉の中にもまれて遊ぶなどの例がある。「はっけんヒント」の欄で気をつけることが示されている。								
信教	「〇〇のさんぽみち」というタイトルで、クワの実つみ、クズで作ったムカデなど四季に合った自然の中での遊びが示されている。								
光村	身近な自然での遊びを、四季を通じて連続したページで設けてある。「耳をすませる」「においをかぐ」など体全体を使って遊ぶことが示されている。								
啓林館	「せいかつたんけんぶっく」があり、ツツジの首飾り、ススキのミミズクなど身近な自然の遊び方が示されている。								
日文	「くさばなあそびずかん」の中で草花遊びの例が示されている。「きせつともだち」で四季に応じた自然の中での遊びが示されている。								

15 表現や伝え合う活動例	
東書	「つたわる広がるわたしの生活」の単元で、まち探検等の自分たちの活動をふり返り、気付いたことを多様な方法で表現する学習活動が取り上げられている。
大日本	体験をもとにした伝え合いや話し合いの場面が取り上げられており、活動の内容に関する言葉がコラム「せいかつことば」にまとめられている。
学図	活動をふり返る場面での表現活動として、手紙、作文、カード、グラフ、絵画や立体造形、壁新聞、地図等、多様な表現活動が例示されている。
教出	言語や絵、身体表現、歌など多様な表現方法が取り上げられており、巻末の「ぐんぐんポケット」に話し合ったり、発表したり、伝え合ったりする方法の例示がされている。
信教	言葉や絵、作文、身体表現、劇、歌など、多様な表現方法により、自分の思いを伝え合う活動が例示されており、友だちや家族、地域の人々との様々な交流が取り上げられている。
光村	自分の成長をふり返る「ひろがれわたし」等の単元で、活動を通じて気付いたことやできるようになったことを、文章に書いたり、絵に描いたり、身体表現や具体物を使ったりして表現することで、幼児や友だち、家族に向けて伝える活動が取り上げられている。
啓林館	巻末の「わくわくずかん」「いきいきずかん」に話し方、聞き方、記録の取り方まとめ方、カードや紙芝居、クイズなど様々な表現方法、調べ方や伝え方が示され、基本的な技能としてまとめられている。
日文	言語、身体表現、ICT機器の活用など、体験したことを多様な方法で伝え合う活動が取り上げられており、「なんでもずかん」では、話し方、伝え方、調べ方、まとめ方が具体的に例示されている。
16 登下校の安全についての表記例	
東書	「やくそく」のコーナーや「てをあらおう うがいしよう」のマークが各所にあり、注意を促している。登下校に限らず、地域を歩く時の安全や防災・防犯についても掲載されている。
大日本	登下校に限らず、地域を歩く時の安全や防犯についても掲載している。「110番の家」の写真や絵が様々に示されている。
学図	「あんぜんのページ」が繰り返し掲載されている。登下校に限らず、地域を歩く時の安全や防犯についても掲載されている。
教出	学校内にある安全にかかわる設備について掲載がある。登下校に限らず、地域を歩く時の安全や防災・防犯についても掲載されている。
信教	自分たちを守ってくれている人について掲載がある。
光村	上巻の登下校についてのページでは、自分たちを見守ってくれている人について示されている。下巻ではまち探検の中で見つけたものとして、安全にかかわる標識や設備が示されている。
啓林館	「あぶない」「きをつけよう」のコーナーが各所にあり、注意を促している。登下校に限らず、地域を歩く時の安全や防災・防犯についても取り上げられている。
日文	巻末の「なんでもずかん」に安全に特化したページがあり、防災・防犯についても掲載されている。
17 幼児教育と小学校教育をつなぐ合科的・関連的な学習活動例	
東書	生活科を中核としたスタートカリキュラムが「すたあとぶっく」にまとめられている。
大日本	家庭での登校前日の準備の様子や朝の登校の様子がイラストで示され、学校では幼児教育で馴染みのある遊びを通して、友だちをつくる活動が取り上げられている。
学図	小学校の一日や安全な登下校、友だちづくりのための活動等が「1ねんせいになったよ」にまとめられている。
教出	小学校生活の一日や、友だちを作るための活動として自己紹介や遊び、歌が「わくわくどきどきしょうがっこう」にまとめられている。
信教	安全に留意しながら仲間を増やし、居場所をつくる活動が取り上げられている。
光村	歌に合わせて自分の好きな「たべもの」「どうぶつ」「あそび」を紹介する活動や、様々な遊びを示し友だちや先生と「なかよし」になる活動が取り上げられている。
啓林館	登下校の安全、学校の一日の様子や友だちとふれ合う活動などが「いちねんせいになったよ」にまとめられている。
日文	「いちねんせいになったら」に友だちとのふれあいや登下校、学校の日、学習の準備・片付け、授業の約束などを示し、学校生活への適応や安全についてまとめられている。

18 幼児との交流の活動例	
東書	「もうすぐ2ねんせい」の単元で、来年入学する幼児を小学校に招待し、自分たちの作成したおもちゃや考えたルールで幼児と一緒に遊ぶなど活動が取り上げられている。
大日本	来年入学する幼児を小学校に招待し学校生活を体験してもらう活動や、その新入生のために教室の環境を整える活動が示されている。
学図	来年入学する幼児を学校に招待し、校内を案内したり、学校生活を紹介したりする活動や、新入生のために、教室をかざったり掃除したりする活動が取り上げられている。
教出	自分たちで考えた「あきのたからものランド」に幼児を招待して、自分たちが作ったおもちゃや考えたルールと一緒に楽しむ活動を取り上げている。
信教	自分たちが生活科の学習で取り組んだ七夕会に招待する活動や、自分たちが幼稚園や保育園を訪問し、こままわしやシャボン玉を作って一緒に遊んだり、幼児の発表を聞いたりする活動が取り上げられている。
光村	幼児を小学校に招待して、学校の中を案内したり、飼育動物の紹介をしたり、育てた植物の種をプレゼントしたりするなどの計画を、児童が幼児の立場に立って考える活動が取り上げられている。
啓林館	幼児を学校に招待して、自分たちが考えた遊びで一緒に遊ぶ計画を立てる活動や、入学してくる1年生のために教室環境を整える活動が取り上げられている。
日文	幼児を学校に招待して、自分たちが秋の公園で見つけたものから考えた遊び「あきのひろば」で一緒に遊ぶ計画を立てる活動が取り上げられている。
19 気付きの質を高める学習活動例（見付ける→比べる→たとえる）	
東書	「べんりてちょう」の中に「見つけたことから考えよう」のページを設け、友だちと話し合い、比べたり、分類したり、順序だてて考えたりする活動が例示されている。
大日本	キャラクターのセリフ、カード等の記録の例から、比べたり、たとえたりする活動例が示されている。
学図	各大単元を学習した後に、その単元に関連した日常生活の中の身近な課題を、単元で学習したことを生かして解決する「きみならどうする」を設定している。
教出	キャラクターが「問いかけ」を提示し、後ページで答える形式になっており、「はっけんひんと」において、対象を見る視点や次の活動を導く問いが例示されている。また、家族に伝え、学習をふり返る「おうちでチャレンジ」が設定されている。
信教	地域に根ざした活動や「たんごのせっく」「たなばた」「おつきみ」「ひなまつり」などの地域に伝わる季節の行事を題材に、地域の人々と様々にかかわりながら、繰り返し活動する構成になっている。
光村	「どうすればいきものとなかよくなれるかな」等、全ての単元に視点や活動を広げるヒントとして「どうすればいいかな」のコーナーと「？」が設定されている。
啓林館	キャラクターが問いかける形で、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動を示しており、飼育・栽培活動や遊び、まち探検等様々な単元の中で、気付いたことを友だちに伝え合う活動が取り上げられている。
日文	四季の公園の様子が定点観測の写真で示されていたり、「こまったかあど」等の様々なカードが提示されており、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動が示されている。
20 気付きの質を高める学習活動例（繰り返しかかわる学習）	
東書	花や野菜の栽培や観察、収穫。また、虫の観察と飼育、小動物の世話等を継続することで、気付きの質を高める構成になっている。
大日本	葉の形のなかに問いかけを提示している。花や野菜を栽培し、成長や収穫の喜びを味わせる活動や、虫を観察、飼育する活動を繰り返し継続することで、気付きの質を高めている。
学図	花や野菜、生き物を継続的に育てる活動において、気付きの質を高めるために、やさしい日記やはっけんカードを取り上げている。
教出	キャラクターが「ふりかえる」の旗を持って提示している。家庭でも繰り返し活動ができるように、「おうちチャレンジ」コーナーがある。
信教	生きものといっしょ①②③は、年間通した継続した活動によって、気付きの質を高めていく構成になっている。
光村	ホップ（興味関心）、ステップ（具体的な活動）、ジャンプ（まとめ）、もっとやってみよう（発展）という構成になっている。
啓林館	別冊「せいかつたんけんブック」では、「花や生き物」「自然あそび」など、外での活動のヒントになるものを紹介している。
日文	上巻では、花を育てる活動。下巻では、野菜を育てる活動と身近な生きものを飼育する活動が継続して取り上げられている。

4 構成・分量・装丁

※ 啓林館は別冊のページ数を下巻に含む

調査項目		発行者	東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館	日文
1	総ページ数	上	134	134	132	122	108	122	134	142
		下	121	134	128	116	100	106	176	136
		合計	255	268	260	238	208	228	310	278
23年度版との比較 (%)			+11%	0%	+12%	+19%	+4%	+7%	+11%	+19%
2	単元数	上	9	4	6	8	16	8	10	9
		下	9	4	5	6	13	7	8	6
		合計	18	8	11	14	29	15	18	15
3	文章・図版等の割付け		適	適	適	適	適	適	適	適
4	右とじ縦書き 左とじ横書き		左とじ横書き一部縦書き	左とじ横書き一部縦書き	左とじ横書き一部縦書き	左とじ横書き一部縦書き	右とじ縦書き	左とじ横書き一部縦書き	左とじ横書き一部縦書き	左とじ横書き一部縦書き

5 表記・表現

調査項目		発行者	東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館	日文
1	一緒に学習・体験できるキャラクターやマークの数	マーク 上	3	1	2	5	6	8	8	3
		マーク 下	2	1	2	5	6	8	9	4
		キャラクター 上	5	3	4	2	3	0	3	9
		キャラクター 下	3	3	4	2	3	0	3	9
2	児童の興味・関心を喚起させるような装丁・表記等									
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○口絵として変型判ページの「すたーとぶっく」 ○植物の成長を示した「変型判ページ」 ○植物に関する「ほんとうのおおきき図かん」 ○切り離して野外活動に携行できる「ポケットずかん」 ○技能や学び方等が示された「べんりてちょう」 ○紙面の各要素の配置の固定 ○活動のヒント等を投げかけるキャラクターのセリフ 									
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○季節に沿った大単元構成 ○昆虫の生息場所に関する「透明シートの口絵」 ○切り離して使うことのできる「野原のビンゴゲーム」 ○夜の町や生き物の様子を示した「夜のたんけんライト」 ○安全や学び方等様々な内容の資料「かくしゅうどうぐばこ」 ○活動内容を示す「木の葉のスペース」 ○活動のヒント等を投げかけるキャラクターのセリフ 									
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○「探検」「栽培」「遊び」「飼育」「成長」の5つの大単元構成 ○単元に関連する活動例を示した「ものしりノート」「チャレンジずかん」 ○動植物に関する「生きものずかん」 ○学び方を示した「学びかたずかん」 ○交通安全や防災、道具の使い方等を示した「あんぜんのページ」 ○大単元の冒頭の扉絵ページ ○子どもの言葉遣いで表現された各単元のリード文 									
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面の各要素の配置の固定 ○技能や学び方を示した「ぐんぐんポケット」 ○各単元の最終ページに3段階の自己評価「ふりかえる」 ○学習を振り返り記入する形式の「生活科ノート」 ○「アサガオの発芽」の様子を立体印刷 ○合科的・関連的な指導の目安となる教科マークの表示 ○季節や制作活動に関する「ずかん」 									
信教	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの学校生活や行事、季節等の単元を時系列に配列 ○巻頭や見開きのカラー写真 ○各単元の表示マーク ○具体的な活動を示す二人の主人公の設定 ○主人公やその友達の様子を示したさし絵 ○節句、伝統行事の単元の地域の特色を盛り込んだ「切り絵」 ○縦書きの表記 									
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階での単元構成 ○安全等に関する「！」マーク ○活動のヒントが示された「どうすればいいかな」「？」 ○季節に関する資料「きせつのおくりもの」 ○5曲のオリジナルソング ○ICT機器等を使った発表場面のイラスト ○活動のヒント等を示した登場人物のセリフ 									
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○単元が「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」の4段階構成 ○安全や学び方等様々な内容の資料「わくわくずかん」 ○野外活動に携行できる別冊教科書「せいかつ たんけんブック」 ○活動のヒント等が示された「あぶない」「こんなときどうしよう」「ちゃれんじ」のコーナー ○活動のヒント等を示した登場人物のセリフ ○観音開きになるページ ○ICT機器等を使った発表場面のイラスト 									
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○紙面の各要素の配置の固定 ○上下巻の表紙裏や裏表紙裏にイラストの輪郭や数字、点字に凸凹をつけた印刷 ○安全や学び方等様々な内容の資料「なんでもずかん」 ○見開きページの右端に安全や活動例等の提示 ○活動のヒント等を示した登場人物のセリフ ○観音開きになるページ ○関連する内容を示したリンクのマーク 									